

財政援助団体等監査結果報告

[財団法人神戸市地域医療振興財団]

神戸市監査委員	近	谷	衛	一
同	横	山	道	弘
同	吉	田	基	毅
同	米	田	和	哲

地方自治法第199条第7項の規定に基づき実施した平成17年度財政援助団体等監査について、同条第9項の規定によりその結果に関する報告を次のとおり決定した。

1 監査の対象

財団法人神戸市地域医療振興財団（以下「財団」という。）における出納その他の事務（財政援助に係る出納その他の事務を含む。）で、主として平成16年度執行の事務。

2 監査の期間

平成17年9月28日～平成18年3月17日

3 監査の方法

監査は、出納その他の事務が法令等に基づき適正に行われているかについて、関係書類の調査とともに、関係職員に対する質問等の方法により実施した。

4 団体の概要

(1) 設立の趣旨

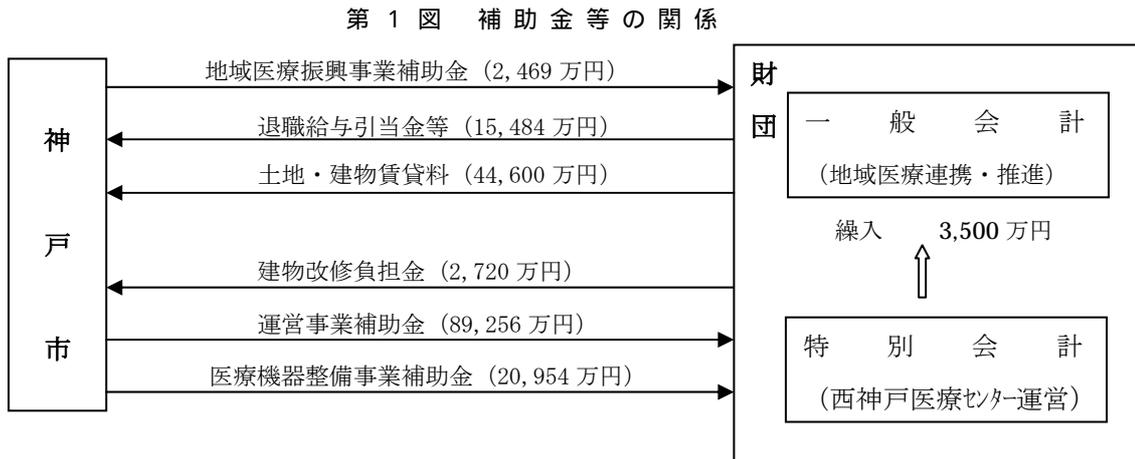
財団は、健康づくりから、診断・治療、リハビリテーションにいたる包括的な医療供給体制の確立を図るため、神戸市（以下「本市」という。）における地域医療のシステム化を推進し、もって市民の健康と福祉の増進に寄与することを目的として、平成3年2月に設立された。

(2) 本市との関係

財団の基本財産は、1億1千万円であり、本市は1億円（出えん率90.9%）を出えんしている。

平成16年度は、第1図のとおり補助金として、西神戸医療センター運営事業及び医療機器整備事業等に11億2,679万円を交付している。

平成16年度末における職員数は597人であり、そのうち本市派遣職員は115人である。



(3) 事業の概要

財団の所在地は、第1表のとおりである。

第1表 財団の所在地

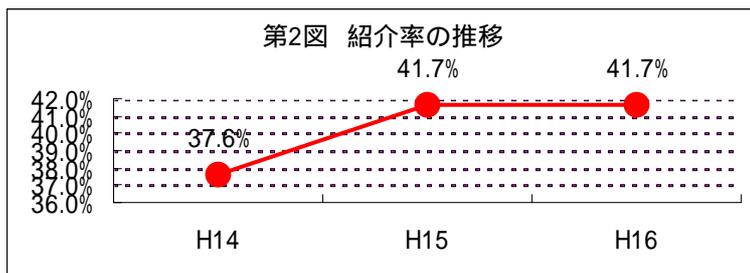
事業所	所在地
財団（事務所）	西区糀台5丁目7番地1

主な事業及び業務量の推移は第2表のとおりである。

① 地域医療連携システム運営事業

市民が身近な地域で、適切な医療を継続的に受けられる地域医療連携を進めるため、西神戸医療センターを核とする神戸西地域における連携システムを運営している。

平成16年度末における連携システム参加医療機関は673機関（97.0%）となっており、相互に患者紹介・診療情報の提供を行っている。なお、紹介率の推移は第2図のとおりである。



また、連絡協議会やオープンカンファレンスを開催し、連携システムのより円滑な運営と充実、医療機能の向上に地域の医療機関とともに取り組んでいる。

② 地域医療連携システム推進事業

地域医療の連携システム化を推進し、その向上を図るため、当年度は、市民を対象とする保健医療に関する講座を3回実施したほか、地域の医療従事者を対象とする神戸西地域合同カンファレンスを4回開催している。

③ 西神戸医療センターの運営

西神戸医療センターを神戸西地域における中核病院として運営し、高度医療・救急医療を提供するとともに、地域の医療機関との連携についての取り組みを行っている。また、結核医療を提供する病院として運営している。

入院患者数は163,524人で前年度に比べ1,185人(0.7%)減少しているものの、外来患者数は467,184人で前年度に比べ12,882人(2.8%)増加している。

第 2 表 業 務 量 の 比 較

項 目	平成 16 年度	平成 15 年度	対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
地域医療連携システム運営事業				
連携システム参加医療機関	673 機関	662 機関	11 機関	1.7
西 区	226 機関	219 機関	7 機関	3.2
垂水区	236 機関	240 機関	△4 機関	△1.7
須磨区	211 機関	203 機関	8 機関	3.9
患者紹介と診療情報の提供				
初診・検査予約の受付件数	8,345 件	7,868 件	477 件	6.1
西神戸医療センターへの紹介	16,272 件	15,588 件	684 件	4.4
西神戸医療センターからの紹介	10,131 件	8,109 件	2,022 件	24.9
西神戸医療センターからの 来院・経過報告件数	25,823 件	24,934 件	889 件	3.6
連携システム参加医療機関向け 機関紙「れんけい」の発行	12 回	12 回	0 回	0.0
神戸西地域連携システム連絡協議会の開催	5 回	6 回	△1 回	△16.7
西神戸医療センター 歯科連携システム連絡協議会の開催	4 回	4 回	0 回	0.0
地域の医療従事者が参加する オープンカンファレンスの開催	34 回	30 回	4 回	13.3
地域医療連携システム推進事業				
身近な保健医療講座の開催	3 回	3 回	0 回	0.0
神戸西地域合同カンファレンスの開催	4 回	3 回	1 回	33.3
西神戸医療センターの運営				
入院患者・延べ人数	163,524 人	164,709 人	△1,185 人	△0.7
1 日あたり	448 人	450 人	△2 人	△0.4
外来患者・延べ人数	467,184 人	454,302 人	12,882 人	2.8
1 日あたり	1,923 人	1,846 人	77 人	4.2

(4) 経営状況

財団の会計は、一般会計（①、②）及び特別会計（③）に分かれ、会計処理は、公益法人会計基準を適用しており、消費税処理は税込処理である。（カッコ内の数字は、“(3)事業の概要”の各事業の番号に対応している。）

当年度の収支状況は、第3表のとおりである。

第 3 表 比較収支計算書（総括表）

(単位 金額：千円)

科 目	平成 16 年 度		平成 15 年 度		対前年度 増 減	対前年度 増 減 率	
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率			
収 入 の 部	基本財産運用収入	551	0.0	551	0.0	0	0.0
	事業収入	13,409,141	91.8	13,049,817	92.0	359,324	2.8
	補助金等収入	1,151,956	7.9	1,100,593	7.8	51,363	4.7
	雑収入	1,028	0.0	1,038	0.0	△ 10	△ 1.0
	繰入金収入	35,000	0.2	35,000	0.2	0	0.0
	敷金保証金戻り収入	7,000	0.0	—	—	7,000	皆増
	当期収入合計 (A)	14,604,677	100.0	14,187,000	100.0	417,677	2.9
支 出 の 部	地域医療連携システム運営事業費	31,475	0.2	30,990	0.2	485	1.6
	地域医療システム推進事業費	14,063	0.1	13,940	0.1	123	0.9
	医療施設運営事業費	13,534,966	85.1	13,205,462	87.5	329,504	2.5
	管理費	15,111	0.1	14,521	0.1	590	4.1
	固定資産取得支出	568,659	3.6	368,469	2.4	200,190	54.3
	借入金返済支出	1,700,000	10.7	1,415,000	9.4	285,000	20.1
	繰入金支出	35,000	0.2	35,000	0.2	0	0.0
	敷金保証金支出	3,600	0.0	5,940	0.0	△ 2,340	△ 39.4
	当期支出合計 (B)	15,902,873	100.0	15,089,322	100.0	813,551	5.4
	当期収支差額 (C=A-B)	△ 1,298,197	—	△ 902,323	—	△ 395,874	—
	前期繰越収支差額 (D)	2,390,918	—	3,293,241	—	△ 902,323	—
	次期繰越収支差額 (E=C+D)	1,092,722	—	2,390,918	—	△ 1,298,196	—

(注)金額は、千円未満を四捨五入している。

当年度は、一般会計と特別会計を併せると当期収入合計146億467万円に対し、当期支出合計159億287万円で当期収支差額が12億9,819万円の赤字となっている。これに前年度からの繰越収支差額を加えた次期繰越収支差額は10億9,272万円となっている。

前年度と比べると、収入が4億1,767万円(2.9%)増加したものの、支出が8億1,355万円(5.4%)増加した結果、当期収支差額は3億9,587万円の収支悪化となっている。

正味財産増減の状況は、第4表のとおりである。

前年度末に比べ6億883万円増加し、27億6,470万円となっている。

第4表 正味財産増減計算書（総括表）
 (単位 金額：千円)

科 目		平成16年度	
		金	額
増加の部	資産増加額	782,975	
	負債減少額	1,746,283	
	合計 (A)	2,529,257	
減少の部	資産減少額	1,853,363	
	負債増加額	67,063	
	合計 (B)	1,920,425	
当期正味財産増加額 (C=A-B)		608,832	
前期繰越正味財産額 (D)		2,155,874	
期末正味財産合計額 (E=C+D)		2,764,706	

① 一般会計

ア 収支状況

収支状況は、第5表のとおりである。

第5表 比較収支計算書（一般会計）

(単位 金額：千円)

科 目		平成16年度		平成15年度		対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
		金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
収入の部	基本財産運用収入	551	0.9	551	0.8	0	0.0
	事業収入	2,640	4.1	2,834	4.4	△ 194	△ 6.8
	補助金等収入	25,430	39.3	25,644	39.4	△ 214	△ 0.8
	雑収入	1,028	1.6	1,038	1.6	△ 10	△ 1.0
	繰入金収入	35,000	54.1	35,000	53.8	0	0.0
当期収入合計 (A)		64,649	100.0	65,068	100.0	419	0.6
支出の部	地域医療連携システム運営事業費	31,475	51.9	30,990	52.1	485	1.6
	地域医療システム推進事業費	14,063	23.2	13,940	23.4	123	0.9
	管理費	15,111	24.9	14,521	24.4	590	4.1
	当期支出合計 (B)	60,648	100.0	59,451	100.0	1,197	2.0
当期収支差額 (C=A-B)		4,001	—	5,617	—	△ 1,616	—
前期繰越収支差額 (D)		36,026	—	30,408	—	5,618	—
次期繰越収支差額 (E=C+D)		40,027	—	36,026	—	4,001	—

(注) 金額は、千円未満を四捨五入している。

当期収入合計6,464万円に対し、当期支出合計は6,064万円で、当期収支差額は400万円となっている。これに前年度からの繰越収支差額を加えた次期繰越収支差額は4,002万円となっている。

前年度と比べると、収入が41万円(0.6%)減少し、支出が119万円(2.0%)増

加した結果、当期収支差額は161万円の収支悪化となっている。

(7) 収入

基本財産運用収入55万円は、基本財産1億1千万円の運用にかかる受取利息である。

事業収入は264万円で、地域医療ホールの償還金である。

補助金等収入は2,543万円で、主として地域医療連携システムの運営等にかかる本市補助金2,469万円である。

雑収入は102万円で、主として神戸市債運用にかかる受取利息である。

繰入金収入は3,500万円で、特別会計からの繰入れである。

(イ) 支出

地域医療連携システム運営事業費は3,147万円で、主として医療連携事務等の委託料1,349万円及び給与費1,303万円である。

地域医療システム推進事業費は1,406万円で、給与費816万円及び資料室の整備等にかかる経費589万円である。

管理費は1,511万円で、主として給与費705万円及び清掃業務等の委託料369万円である。

イ 正味財産増減の状況

正味財産増減の状況は、第6表のとおりである。

前年度末に比べ当期収支差額400万円が増加し、3億5,502万円となっている。

第6表 正味財産増減計算書(一般会計)

(単位 金額:千円)

科 目		平成16年度
		金 額
増加の部	当期収支差額	4,001
	合 計 (A)	4,001
当期正味財産増加額 (A)		4,001
前期繰越正味財産額 (B)		351,026
期末正味財産合計額 (C=A+B)		355,027

② 特別会計

ア 収支状況

収支状況は、第7表のとおりである。

当期収入合計145億4,002万円に対し、当期支出合計は158億4,222万円で、当期収支差額は13億219万円の赤字となっている。これに前年度からの繰越収支差額を加えた次期繰越収支差額は10億5,269万円となっている。

前年度と比べると、収入が4億1,809万円(3.0%)増加したものの、支出も8億1,235万円(5.4%)増加した結果、当期収支差額は3億9,425万円の収支悪化となっている。

第7表 比較収支計算書(特別会計)

(単位 金額:千円)

科 目	平成16年度		平成15年度		対前年度 増 減	対前年度 増 減 率	
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率			
収 入 の 部	医 業 収 益	13,129,995	90.3	12,771,507	90.4	358,488	2.8
	入 院 収 益	6,820,230	46.9	6,847,459	48.5	△ 27,229	△ 0.4
	外 来 収 益	6,052,977	41.6	5,652,790	40.0	400,187	7.1
	そ の 他 医 業 収 益	256,788	1.8	271,258	1.9	△ 14,470	△ 5.3
	医 業 外 収 益	1,403,032	9.6	1,350,425	9.6	52,607	3.9
	補 助 金 収 入	1,126,526	7.7	1,074,949	7.6	51,577	4.8
	そ の 他 医 業 外 収 益	276,506	1.9	275,476	2.0	1,030	0.4
	敷金保証金戻り収入	7,000	0.0	—	—	7,000	皆増
	保 証 金 戻 り 収 入	7,000	0.0	—	—	7,000	皆増
当期収入合計 (A)	14,540,027	100.0	14,121,931	100.0	418,096	3.0	
支 出 の 部	医 業 費 用	13,514,495	85.3	13,185,892	87.7	328,603	2.5
	給 与 費	4,622,818	29.2	4,615,937	30.7	6,881	0.1
	材 料 費	5,036,099	31.8	4,790,848	31.9	245,251	5.1
	経 費	3,814,394	24.1	3,737,668	24.9	76,726	2.1
	研 究 研 修 費	41,183	0.3	41,438	0.3	△ 255	△ 0.6
	医 業 外 費 用	20,471	0.1	19,570	0.1	901	4.6
	消 費 税	7,797	0.0	8,665	0.1	△ 868	△ 10.0
	雑 支 出	12,674	0.1	10,906	0.1	1,768	16.2
	固 定 資 産 取 得 支 出	568,659	3.6	368,469	2.5	200,190	54.3
	借 入 金 返 済 支 出	1,700,000	10.7	1,415,000	9.4	285,000	20.1
繰 入 金 支 出	35,000	0.2	35,000	0.2	0	0.0	
敷金保証金支出	3,600	0.0	5,940	0.0	△ 2,340	△ 39.4	
当期支出合計 (B)	15,842,225	100.0	15,029,871	100.0	812,354	5.4	
当期収支差額 (C=A-B)	△ 1,302,198	—	△ 907,940	—	△ 394,258	—	
前期繰越収支差額 (D)	2,354,893	—	3,262,833	—	△ 907,940	—	
次期繰越収支差額 (E=C+D)	1,052,695	—	2,354,893	—	△ 1,302,198	—	

(ア) 収入

医業収益は13億1,999万円で、入院収益6億8,023万円、及び外来収益6億5,297万円等である。外来患者の増加に伴い、前年度に比べ3億5,848万円(2.8%)増加している。

医業外収益は1億4,303万円で、主として西神戸医療センターの運営等の本市補助金1億1,210万円で、前年度に比べ5,260万円(3.9%)増加している。

(イ) 支出

医業費用は135億1,449万円で、主として材料費50億3,609万円、及び給与費46億2,281万円である。前年度に比べ3億2,860万円(2.5%)増加しているが、これは主として薬品購入にかかる材料費の増によるものである。

医業外費用は2,047万円で、雑支出1,267万円及び消費税779万円である。

固定資産取得支出は5億6,865万円で、主として医療機器の購入4億7,945万円である。

借入金返済支出は17億円で、本市からの借入金の返済である。

繰入金支出は3,500万円で、これは一般会計への繰入れである。

なお、資本的収支を除いた損益計算書は第8表のとおりである。

当期は、収入及び支出ともに増加したが、当期収支差は、6億483万円で、前年度に比べ、8,052万円の収支改善となっている。これに前期繰越金18億484万円を加えた次期繰越収支差額は、24億968万円となっている。

第 8 表 比較損益計算書 (特別会計)

(単位 金額：千円)

科 目	平成16年度		平成15年度		対前年度 増 減	対前年度 増 減 率	
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率			
収入の部	医 業 収 益	13,129,995	90.3	12,771,507	90.4	358,488	2.8
	医 業 外 収 益	1,403,032	9.7	1,350,425	9.6	52,607	3.9
	当期収入合計 (A)	14,533,027	100.0	14,121,931	100.0	411,096	2.9
支出の部	医 業 費 用	13,464,573	96.7	13,198,367	97.1	266,206	2.0
	給 与 費	4,622,818	33.2	4,615,937	33.9	6,881	0.1
	材 料 費	5,001,657	35.9	4,816,256	35.4	185,401	3.8
	経 費	3,801,659	27.3	3,729,533	27.4	72,126	1.9
	研 究 研 修 費	38,438	0.3	36,641	0.3	1,797	4.9
	医 業 外 費 用	20,471	0.1	19,570	0.1	901	4.6
	繰 入 金 支 出	35,000	0.3	35,000	0.3	0	0.0
	減 価 償 却 費	253,092	1.8	169,063	1.2	84,029	49.7
	開 発 費 等 繰 延 償 却 額	94,331	0.7	99,501	0.7	△ 5,170	△ 5.2
	長 期 前 払 費 用 償 却 額	39,949	0.3	55,562	0.4	△ 15,613	△ 28.1
	退 職 給 与 引 当 金 繰 入 額	20,780	0.1	20,565	0.2	215	1.0
当期支出合計 (B)	13,928,197	100.0	13,597,628	100.0	330,569	2.4	
当期収支差額 (C=A-B)	604,831	—	524,304	—	80,527	—	
前期繰越金 (D)	1,804,849	—	1,280,545	—	524,304	—	
当期末処理金 (E=C+D)	2,409,680	—	1,804,849	—	604,831	—	

イ 正味財産増減の状況

正味財産増減の状況は、第9表のとおりである。

前年度末に比べ6億483万円増加し、24億968万円となっている。これは主として本市からの借入金の返済終了に伴う負債の減によるものである。

第9表 正味財産増減計算書(特別会計)

(単位 金額：千円)

科 目		平成16年度
		金 額
増 加 の 部	資 産 増 加 額	778,973
	貯 蔵 品 増 加 額	174,414
	固 定 資 産 増 加 額	511,760
	開 発 費 増 加 額	72,723
	保 証 金 増 加 額	3,600
	長 期 前 払 費 用 増 加 額	16,477
	負 債 減 少 額	1,746,283
	長 期 借 入 金 返 済 額	1,700,000
	退 職 給 与 引 当 金 取 崩 額	46,283
	合 計 (A)	2,525,256
減 少 の 部	資 産 減 少 額	1,853,363
	当 期 収 支 差 額	1,302,198
	貯 蔵 品 減 少 額	140,316
	固 定 資 産 減 少 額	16,477
	減 価 償 却 費	253,092
	保 証 金 繰 延 償 却 額	10,428
	開 発 費 繰 延 償 却 額	90,903
	長 期 前 払 費 用 償 却 額	39,949
	負 債 増 加 額	67,063
	退 職 給 与 引 当 金 繰 入 額	67,063
	合 計 (B)	1,920,425
当期正味財産増加額 (C=A-B)		604,831
前期繰越正味財産額 (D)		1,804,849
期末正味財産合計額 (E=C+D)		2,409,680

(5) 財政状態

一般会計と特別会計を併せた財政状態は第10表のとおりである。

第 10 表 比較貸借対照表 (総括表)

(単位 金額：千円)

科 目	平成 16 年 度		平成 15 年 度		対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
資 産	5,405,127	100.0	5,882,794	100.0	477,667	8.1
I 流 動 資 産	3,705,380	68.6	4,376,758	74.4	△ 671,378	△ 15.3
II 固 定 資 産	1,699,747	31.4	1,506,036	25.6	193,711	12.9
1 基 本 財 産	110,000	2.0	110,000	1.9	0	0.0
2 そ の 他 の 固 定 資 産	1,589,747	29.4	1,396,036	23.7	193,711	13.9
負債及び正味財産	5,405,127	100.0	5,882,794	100.0	477,667	8.1
負 債	2,640,421	48.9	3,726,919	63.4	1,086,498	29.2
I 流 動 負 債	2,438,245	45.1	3,545,523	60.3	△ 1,107,278	△ 31.2
II 固 定 負 債	202,176	3.7	181,396	3.1	20,780	11.5
正 味 財 産	2,764,706	51.1	2,155,874	36.6	608,832	28.2
I 正 味 財 産	2,764,706	51.1	2,155,874	36.6	608,832	28.2
(うち基本金)	(110,000)	—	(110,000)	—	(0)	—
(うち当期正味財産増加額)	(608,832)	—	(529,921)	—	(78,911)	—

(注) 金額は、千円未満を四捨五入している。

資産合計は54億512万円で、前年度末に比べ4億7,766万円(8.1%)減少している。

負債合計は26億4,042万円で、前年度末に比べ10億8,649万円(29.2%)減少している。

① 一般会計

財政状態は第11表のとおりである。

ア 資産

資産は3億6,435万円で、前年度末に比べ372万円(1.0%)増加している。

流動資産は4,935万円で、現金預金4,835万円、及び未収金100万円である。主として現金預金の増により、前年度末に比べ372万円(8.2%)増加している。

固定資産は3億1,500万円で、地域医療システム推進事業基金特定預金2億500万円、及び基本財産1億1,000万円である。

イ 負債

負債は流動負債932万円で、未払金906万円等である。主として未払金の減により、前年度末に比べ27万円(2.9%)減少している。

第 11 表 比較貸借対照表 (一般会計)

(単位 金額:千円)

科 目	平成 16 年度		平成 15 年度		対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
資 産	364,356	100.0	360,633	100.0	3,723	1.0
I 流 動 資 産	49,356	13.5	45,633	12.7	3,723	8.2
1 現 金 預 金	48,353	13.3	44,713	12.4	3,640	8.1
2 未 収 金	1,003	0.3	920	0.3	83	9.0
II 固 定 資 産	315,000	86.5	315,000	87.3	0	0.0
1 基 本 財 産	110,000	30.2	110,000	30.5	0	0.0
(1) 神 戸 市 債	110,000	30.2	110,000	30.5	0	0.0
2 そ の 他 の 固 定 資 産	205,000	56.3	205,000	56.8	0	0.0
(1) 地 域 医 療 シ ス テ ム 推 進 金 事 業 基 金 特 定 預 金	205,000	56.3	205,000	56.8	0	0.0
負債及び正味財産	364,356	100.0	360,633	100.0	3,723	1.0
負 債	9,329	2.6	9,607	2.7	278	2.9
I 流 動 負 債	9,329	2.6	9,607	2.7	△ 278	△ 2.9
1 未 払 金	9,066	2.5	9,401	2.6	△ 335	△ 3.6
2 預 り 金	264	0.1	206	0.1	58	28.2
正 味 財 産	355,027	97.4	351,026	97.3	4,001	1.1
I 正 味 財 産	355,027	97.4	351,026	97.3	4,001	1.1
(うち 基 本 金)	(110,000)	—	(110,000)	—	(0)	—
(うち当期正味財産増加額)	(4,001)	—	(5,617)	—	(△1,616)	—

(注) 金額は、千円未満を四捨五入している。

② 特別会計

財政状態は第 12 表のとおりである。

ア 資産

資産は 50 億 4,077 万円で、前年度末に比べ 4 億 8,139 万円 (8.7%) 減少している。

流動資産は 36 億 5,602 万円で、主として未収金 26 億 7,765 万円、及び現金預金 7 億 9,394 万円である。主として現金預金の減により、前年度末に比べ 6 億 7,510 万円 (15.6%) 減少している。

固定資産は 13 億 8,474 万円で、主として医療機器 9 億 2,064 万円、及び長期前払費用 2 億 6,166 万円である。主として医療機器の増により、前年度末に比べ 1 億 9,371 万円 (16.3%) 増加している。

イ 負債

負債は 26 億 3,109 万円で、前年度末に比べ 10 億 8,622 万円 (29.2%) 減少している。

流動負債は、24 億 2,891 万円で、主として未払金 24 億 361 万円である。主として借

入金の返済終了により、前年度末に比べ11億700万円（31.3%）減少している。

固定負債は2億217万円で、退職給与引当金の積み立てにより前年度末に比べ2,078万円（11.5%）増加している。

第12表 比較貸借対照表（特別会計）

（単位 金額：千円）

科 目	平成16年度		平成15年度		対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
資 産	5,040,771	100.0	5,522,161	100.0	481,390	8.7
I 流 動 資 産	3,656,024	72.5	4,331,125	78.4	△ 675,101	△ 15.6
1 現 金 預 金	793,949	15.8	1,646,776	29.8	△ 852,827	△ 51.8
2 未 収 金	2,677,655	53.1	2,533,548	45.9	144,107	5.7
3 貯 蔵 品	174,414	3.5	140,316	2.5	34,098	24.3
4 前 払 金	10,006	0.2	10,486	0.2	△ 480	△ 4.6
II 固 定 資 産	1,384,747	27.5	1,191,036	21.6	193,711	16.3
1 医 療 機 器	920,644	18.3	668,216	12.1	252,428	37.8
2 什 器 備 品	38,737	0.8	46,534	0.8	△ 7,797	△ 16.8
3 構 築 物	9,793	0.2	12,232	0.2	△ 2,439	△ 19.9
4 電 話 加 入 権	2,006	0.0	2,006	0.0	0	0.0
5 保 証 金	11,544	0.2	18,372	0.3	△ 6,828	△ 37.2
6 開 発 費	136,160	2.7	154,340	2.8	△ 18,180	△ 11.8
7 長 期 前 払 費 用	261,664	5.2	285,135	5.2	△ 23,471	△ 8.2
8 投 資	4,200	0.1	4,200	0.1	0	0.0
負債及び正味財産	5,040,771	100.0	5,522,161	100.0	481,390	8.7
負 債	2,631,091	52.2	3,717,312	67.3	1,086,221	29.2
I 流 動 負 債	2,428,915	48.2	3,535,916	64.0	△ 1,107,001	△ 31.3
1 未 払 金	2,403,615	47.7	1,799,319	32.6	604,296	33.6
2 前 受 金	161	0.0	1,226	0.0	△ 1,065	△ 86.9
3 預 り 金	25,139	0.5	35,372	0.6	△ 10,233	△ 28.9
4 短 期 借 入 金	—	—	1,700,000	30.8	△ 1,700,000	皆減
II 固 定 負 債	202,176	4.0	181,396	3.3	20,780	11.5
1 預 り 保 証 金	35,996	0.7	35,996	0.7	0	0.0
2 退 職 給 与 引 当 金	166,180	3.3	145,400	2.6	20,780	14.3
正 味 財 産	2,409,680	47.8	1,804,849	32.7	604,831	33.5
I 正 味 財 産	2,409,680	—	1,804,849	—	604,831	—
（うち当期正味財産増加額）	(604,831)	—	(524,304)	—	(80,527)	—

（注）金額は、千円未満を四捨五入している。

5 監査の結果

財団の出納その他の事務については、おおむね適正に行われているものと認められたが、事務の一部について、次のような改善を要する事例が見受けられたので、今後適正な事務処理に努められたい。

(1) 会計処理に関する事務について

① 未収金の計上について

平成15年度の特別会計決算において、未収金の計上が漏れている事例が見受けられた。

(総務課)

適正な会計処理を行うべきである。

② つり銭用現金取扱規程について

総合受付等でつり銭用現金を管理しているが、つり銭用現金は会計規程に定める手許現金であるから、会計規程に基づき金額等を規定する取扱規程を定めるべきである。

しかし、現状では支払準備資金にあたる手元現金取扱要綱は定められているが、つり銭用現金については要綱等が定められていない。そのため、本来つり銭に該当しない解剖謝礼を、つり銭用現金から立替えているような事例が見受けられた。

(総務課)

会計規程に基づき、金額、用途等を定める規定を設け、適正な執行に努めるべきである。

(2) 契約に関する事務

① 委託契約について

医療用器材の滅菌業務を委託しているが、委託契約書に規定されていない器材の院外滅菌費用を支払っている事例が見受けられた。

(総務課)

適正な経費執行のため、契約変更等を行ったうえで経費を支出するべきである。

(3) 財産管理に関する事務について

① 固定資産台帳と財産目録の不一致について

固定資産台帳（減価償却資産の計算書）に記載された年度末現在高が財産目録と一致していない事例が見受けられた。

(総務課)

適正な財産管理に努めるべきである。

